



©UNICEF Timor-Leste/2012/Jvas



アレックスと子どもたち

## 「ユニセフのつどい 2014～ネパールから東ティモールへ」ご参加ください

6月7日(土)13時から 仙台市シルバーセンター1F 交流ホールにて

2005年より北海道・東北の生協が協同で指定募金の形でネパールの女性と子どもたちを支援してきましたが、一定程度成果がみられ、2014年からは東ティモールの新生児と母親の保健ケアプロジェクトを支援することになりました。ネパールではどのように暮らしが改善されたか、東ティモールではどのような暮らしをしているのかをお知らせします。映画”Canta! Timor”（歌え！ティモール）は、全編にわたって音楽にあふれるドキュメンタリー映画です。現地の青年アレックスや子どもたちの元気な歌声は、時に物悲しいようにも感じます。1999年までの24年間で人口の3分の1を失うという、狂気のような殺りくを受けた東ティモール。消えない悲しみを抱きながらも、「許す」という選択をした人々の姿が美しい音楽と共に綴られます。入場無料（要事前申込） 土曜日の午後、ぜひおでかけください。

## 写真パネル展「ハッピー・バースデー3.11」

「～あの日、被災地で生まれた11人の子どもたちと家族の物語～」写真展を5月12日～31日まで、みやぎ生協文化会館ウイズ2F ギャラリーで開催中。モノクロとカラー写真で構成されています。たくさんの大切な命が失われたあの日、過酷な状況の中生まれてきてくれた新しい命は、その家族や周囲の人々の様々な想いに包まれて、今も育まれています。



“みんな！生まれてきてくれて、ありがとう！”

## 宮城県白石高等学校でチャリティ演奏会

5月18日(日)、大河原町のえずこホールで、吹奏楽部第5回定期演奏会が開かれました。毎年ユニセフにご支援いただいています。今年は、「人道危機」支援のためのチャリティです。ユニセフを担当する堀田さんが、中央アフリカ共和国を例に取り、会場のみなさんに説明し、支援を訴えました。演奏会はバラエティに富み、すばらしいものでした♪



## ボランティア「イトカの会」で“パネルシアター”を作成、実演しました

4月から作成を開始し、5月19日、新田児童館で小学校1年生42人を前に実演する機会が持てました。タイトルは「エマちゃんの日」。水の大切さを知り、自分たちと違う生活をしている子どもたちの存在に気づくことをねらいとしています。一人がナレーションとセリフを読み、もう一人が登場人物や風景をパネルに貼ったり、外したり。低学年向けの学習ツールになるよう、練習を重ねます。



## フジテレビ「とくダネ！」で“フィリピンの子どもたちの現状レポート”が放送されました

系列28局が主催するFNSチャリティキャンペーンは、1974年より継続的にユニセフの活動にご支援くださっています。毎年支援国とテーマを決定し、1年間募金・広報キャンペーンを実施。今年の支援国はフィリピン。4月21日から5月7日まで、フジテレビの森本さやかアナウンサーが台風被害を受けたレイテ島を訪れ、子どもたちの様子取材しました。5月20日、21日に放送されました。子どもたちの屈託のない笑顔が印象的でした。



宮城県ユニセフ協会 〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2 みやぎ生協ウイズ1F

事務所：月曜日～金曜日

Tel 022-218-5358 Fax 022-218-5945 E-mail sn.municef\_miyagi@todock.jp

10:00～17:00

新しい情報はホームページが便利です <http://www.unicef-miyagi.gr.jp>

上記以外 070-6617-6284(五十嵐栄子)